**8 今村仁司『人類の生活と死』**

人類は生誕してからずっと死の観念を抱えて生きてきた。死者を悼む葬儀をいとなみ、墓場をつくり、定期的に死者を回想し、そうするなかで自分自身の死の可能性に思いをこらしてきた。死の儀礼が生きている者たちの生活にリズムをつける。人間の生は死を抱える、あるいは生は死の観念によってはじめて  
 　　Ａ　　たりうる。哲学者なら、①そうした人間存在のあり方を「死に向かう存在」というかもしれない。

【しかし哲学者のⓐテイギをまつまでもなく、人類はⓑタイコから具体的行動において死に向かって存在しつづけてきたのである。他人の死を経験し、自分のありうるかもしれない死に思いをいたすだけでない。日々の生活を維持するために、労働は自然との厳しい対決であったが、その労働自身は死の恐怖からでているのであり、労働による生活用具の獲得は　　Ｂ　　に対するそのの勝利でもある。】

また労働は、一般に道具的生産であり、それは直接的な消費の断念、つまり欲望充足を延期することであるから、小出しの死を生きることでもある。生きた身体による生きた労働そのものが、すでに　　Ｃ　　を抱えた生でもあるのだ。

他方、人間は孤独ではなくて、複数の他人とともに社会をつくりながら生きるのであるが、この社会的生活は他人との絶えざる闘争を抱えている。闘争の理念的極限は他者の死をめざすことである。だから、人間関係もまた闘争のなかの　　Ｄ　　を抱えこまざるをえない。

かくして人間の存在とは社会的存在であるが、個人から見ても集団的行動から見ても、具体的な身体の死からまぬかれない。つまり、人間の生全体が　　Ｅ　　の観念に染めあげられているのだ。

代の技術合理性と経済合理性は、歴史上まれに見るほどに、死および死の観念をⓒボウキャクさせたといえる。個人の内的生と外的生を合理的に組織し、他者との関係を理性的にコントロールしていくなら、人類は、個人的にも社会的にも、理性的になり、死の観念に惑わされはしないだろう。死について語るのは、神話と宗教であり、その歴史的役割はすでに終わった。このように近代人は考えたかのようである。

にもかかわらず、最的理性が最高度に発展したはずの二十世紀は、人類史上最も多く死者の山を築いた時代である。死を追い払ったはずの近代の技術＝経済合理性が、軍事技術とともに最も経済的にして効率的なを実現し、人類は死の観念を、今度は強制的にもたされるはめになった。②奇妙な取り違えが起きたのだ。

語　注

近代＝歴史の時代区分の一つ。ふつう、西洋史ではフランス革命後の時代。非合理的・非人間的な状態を改めて、合理的で人間の理性を重んじる状態であることが、その特徴である。

啓蒙＝非合理的な人間の意識を解放して、あらゆる事がらを理性的、合理的に考えるようにさせること。

問1　二重傍線部ⓐ〜ⓒのカタカナを漢字に直せ。（3点×3）

ⓐ〔　　　　　〕　ⓑ〔　　　　　〕

ⓒ〔　　　　　〕

問2　傍線部①「そうした」の指し示す内容を【　】内から三十字以内で抜き出し、最初と最後の三字を答えよ。（完答で12点）

〔　　　　〕～〔　　　　〕

問3　空欄Ａ〜Ｅには「生」と「死」のどちらかが入る。それぞれ適当な語を答えよ。（2点×5）

Ａ〔　　　〕　Ｂ〔　　　〕　Ｃ〔　　　〕

Ｄ〔　　　〕　Ｅ〔　　　〕

問4　傍線部②「奇妙な取り違えが起きたのだ」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを次から選べ。（10点）

ア　死に向かう行為が、死を人間世界から遠ざけるという結果をもたらしたということ。

イ　死を抱えている人間存在が、死を人間に強制することになったということ。

ウ　死を人間世界から追い払う行為が、死を招き入れる結果をもたらしたということ。

エ　死を人間世界から追い払う行為が、人間を死の観念から完全に解放したということ。

〔　　　〕

問5　本文の内容に合致しないものを次から選べ。（9点）

ア　近代までは、人間の死への恐怖は、神話と宗教によって和らげられていた。

イ　近代までは、労働によって生計をたてることは、死の恐怖から逃れることでもあった。

ウ　近代までは、人間が他人とともに生きることは、同時に死の観念からの解放を意味した。

エ　近代の合理主義によって発展した軍事技術は、人類に強制的に死の観念をもたらした。

〔　　　〕

練習問題〈慣用句〉

次の空欄に身体の一部を表す漢字を一字入れて、慣用句を完成させよ。

①　（　　　）に血がのぼる

②　鬼の（　　　）を取ったよう

③　（　　　）で風を切る

④　（　　　）が躍る

⑤　（　　　）によりをかける

⑥　飼い犬に（　　　）をかまれる

⑦　（　　　　）をくわえる

⑧　背に（　　　）はかえられない

⑨　（　　　）に火がつく

⑩　揚げ（　　　）を取る

【解答】

問1　ⓐ定義　ⓑ太古　ⓒ忘却

問2　他人の（〜）いたす

問3　Ａ＝生　Ｂ＝死　Ｃ＝死　Ｄ＝死　Ｅ＝死

問4　ウ

問5　ウ

【練習問題解答】

①頭　②首　③肩　④胸　⑤腕　⑥手　⑦指　⑧腹　⑨尻　⑩足

【50字要約例】

合理性は死の観念を追い払ったはずだったが、近代の軍事技術とともに、強制的な死をもたらす結果となった。（50字）